

# 新たな宇宙基本計画に向けて ～タスクフォース会合報告など～

東京大学 中須賀真一

2012/12/10 宇宙政策セミナー

# 宇宙関連タスクフォース会合の経緯

- 宇宙政策委員会内だけの議論ではなく、広く宇宙コミュニティの意見を取り入れ、今後の政策委員会での議論・検討の大事なベースとすることを目的に開催。
  - － 議論内容は宇宙政策委員会に報告する。
- 経緯：2010年、2011年に全体会合を一回ずつ開催
  - － 2012/9/23 第3回全体会合開催（約100名の参加）
  - － 10/15：宇宙輸送系分科会　11/3：リモセン分科会
  - － 11/19：宇宙探査・宇宙科学分科会
- 第3回タスクフォース全体会合
  - － 宇宙戦略全般
  - － 産業化・利用拡大
  - － 輸送系
  - － 宇宙科学・宇宙探査

# 現状認識

- 世界的に進む宇宙利用、インフラとしての定着
- 安全保障、その他の政府需要においても民間活力の活用が進む(厳しい国の財政への対応)
- 中小企業・ベンチャー等による裾野の拡大
- 新興国における宇宙利用ニーズの拡大
- 国際的連携・競争の激化
- 5年間で2.5兆円が必要との試算に対し、宇宙関係予算は3000億円程度で推移⇒選択と集中の必要性
- 東日本大震災⇒予算拡大の困難化・防災・減災への対応
- 日本の宇宙機器産業基盤維持・部品枯渇の問題

# タスクフォース会合で出た意見：全般

- 長期ビジョンが見えないことが問題⇒国として何を技術として持つかの選択と集中の検討が必要
- 今見えている・各国が進めているマーケット(利用価値)だけでなく、10年先、20年先のマーケットを見越し、先取りした戦略が必要
- 安全保障に関しては国全体の施策との連携が必要
- 防災への宇宙の活用はまだまだ検討が足りない
- 人材育成の重要性
- 企業の育成、活性化の施策
- 宇宙環境保全(デブリ監視など)は最初から重要な問題と認識した対処すべき
- 海外との連携の重要性

# 産業化・利用拡大に向けて(機器産業側)

- 国際競争力の確保の必要性
  - 最大の比率を占める機器産業である通信・放送衛星分野での日本の技術力低下は深刻
  - 機器単位での競争力の維持も重要。販売力には政府系衛星による宇宙実績が重要
  - トップセールス、パッケージ戦略、キャパビル支援等の海外戦略
- 部品供給の問題
  - 国産化率の低下、部品の枯渇の問題は深刻
  - 民生品の利用、標準化、発想の転換による低コスト化が必須
- 中小企業等を含む産業基盤の維持に向けて
  - シルバー人材の有効活用
  - 宇宙機関の設備などの利用供与、技術移転等の重要性
  - ISO獲得のためのコスト増になる問題
  - 宇宙版SBIR(中小企業技術革新制度)等の施策
- 技術等の国際標準化でのリーダーシップ

# 産業化・利用拡大に向けて(利用側)

- 利用省庁、国内、海外への利用の「営業」必要
  - 従来の地上ベースのインフラを宇宙ベースに変える必要性
  - 国内の利用コミュニティの集約・整備・発展が必須
  - まずは国内で利用市場開拓し、パッケージ化して海外へ
  - 地方自治体も大事な潜在利用者。成功例の提示などの支援必要
- 重要な市場としての海外への戦略の重要性
  - 物だけではなく人材育成等もパッケージとして期待されている  
(相手が何を欲しがっているかの把握が重要)
  - 継続的な交流による信頼関係の醸成が重要
  - 政府や宇宙機関による支援は非常に効果的
  - 海外対応会社をオールジャパン的に作るという案
- 衛星測位・リモセン分野での個別議論

# 衛星測位分野

- 国は測位衛星のパフォーマンス(性能)を定義しそれを維持することが重要(それが産業の基礎になる)
- 国は継続的に研究開発(システム、利用双方)を進めることが必要(GPSでもそうしている)
- システムの先にある「価値」をビジネス化する必要
- 産業化により次に向けての資金が還元されるスキーム作り。お金は宇宙分野以外からも入ってくるようにする必要
- 海外展開は必要だが、まずは国内での利用実績づくりが重要

# 個人的意見

- 選択と集中+「粹」を広げる努力を
  - 提案は「実施した方がいい」ものばかり。でも全部はできない。
  - 宇宙以外に使っていた予算・投資を宇宙に持ってくる努力・営業
  - 産業化、低コスト化などで「お金が入ってくる」「同じ予算でも多くのことができる」状況を作り出すことが重要
- 選択と集中には情報の調査・分析・戦略立案機能が必須
  - 政府、宇宙機関、大学、産業界の連携で継続性のある組織を
- 利用コミュニティの醸成の重要性
  - 国の投資を最大限の効果に変える姿勢
  - 次のプロジェクトのスペックを決めることが極めて重要
- 人材育成では、どんな人を育成するかが重要
  - もの作りからシステムへ、システムから利用開拓・企画立案・運営・ビジネス化等も含めた俯瞰的能力へ
  - 各分野での真のプロフェッショナルを作る